

※質問及び答弁については、12月定例会における内容となりますので、現在の状況と異なる場合があります。
※紙面の都合で発言を要約して掲載しています。

まゆづみ たけお
 夫 議員



問 町の文化財の保護と活用は

答 町民をはじめ多くの方が、文化財を通して五霞の歴史に親しみ、関心を高めることで郷土愛を育てたい

過去に町文化財保護条例、審議会条例が施行され、また第6次町総合計画に文化財保護と活用の記述があるが。

された「町史五霞の生活史：4冊」を活用するとともに、公民館のパネル展示資料等を解りやすく町民皆さんの目に触れるようにしていきます。

わった先生方による公開シンポジウムの開催や観光資源としての文化財・史跡巡り等について関係機関と検討を進めていきたいと思ひます。

問 現状は。

教育次長 町には別表に示した文化財が存在し、貝塚、古墳、城趾等の遺跡と、出土した土器・石器等埋蔵文化財、保存処理された縄文人骨及び貴重な古文書が公民館資料室、倉庫に保管されています。

問 課題は。

教育次長 庁舎及び公民館の複合化計画で、文化財の保存活用をどのようにするかが課題です。なお、年度明けを目安に町文化財保護審議会を開催し、具体的な計画を進めたいと考えています。

【別表】

県指定	1	穴薬師古墳（川妻地区）
	2	東昌寺 梵鐘（山王山地区）
町指定	1	東昌寺 由来記1巻
	2	東昌寺 豊臣秀吉の禁札
	3	古河公方義氏虎印1巻
	4	北条氏照の高札1巻
	5	永禄十二年使僧徳阿公用伝馬朱印状
	6	東昌寺 東照神君檜御扇子
	7	東昌寺 山門

問 進め方は。

教育次長 文化財保護活動に町史編纂委員会より刊行

問 その他は。

教育次長 町史編纂に関

問 行政区組合維持とコストについて

答 住民生活や地域活動に必要な行政情報の効果的な発信に努める

行政区組合に未加入世帯が増えている現在、今後の自治活動継続の課題とコストは。

問 課題は。

総務課長 各々の行政区組合で違いがあるが、住民の価値観の多様化と高齢化・単身世帯の増加等により地域活動はより困難となり、地域の後継者不足等が考えられます。

総務課長 行政組合への加入世帯減少を抑制する決め手がないのが現状です。今後は自主防災組織やごみ管理等、行政と地域が役割分担して協働による地域活性が求められるので、地域コミュニティの気運を高められるよう努めたい。

問 現状は。

総務課長 行政区組合は歴史ある地域コミュニティであり、今まで地域の実情に応じた活動がなされていると認識しています。

問 改善は。

【参考】行政区組合とコスト(各年度決算資料より)

項目	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
区長役員報酬	円	6,283,400	6,218,922	6,086,850	6,114,100	6,057,900
助成金	円	5,046,000	4,977,000	4,897,000	4,855,500	4,807,000
広報発行費用	円	1,844,208	1,789,800	2,262,029	1,452,000	1,452,000
ホームページ構築委託費	円	2,269,296	1,840,108	1,452,000	1,504,800	1,610,162
ホームページアクセス数	件	646,580	779,566	1,379,086	1,373,626	1,461,296
全世帯数(世帯分離・福祉施設・会社の寮を除く)※	世帯	2,980	2,994	2,958	2,999	3,026
行政区組合加入世帯数※	世帯	1,778	1,740	1,709	1,678	1,647
行政区加入率※	%	60	58	58	56	54
行政区組合数※	組合	130	130	129	129	129

※各年度4月1日現在